

平成29年度開催公開講座一覧(全26講座)

※参加人数は複数日程の場合は延べ人数で集計

| 担当 | 講分 分 区 | 講座名 | 講座内容 | 担当講師 | 開催日 | 会場 | 募集人数 | 参加人数 |
|------------------|--------------|--|--|--|--|---|------|------|
| 公開講座委員会 | 高校生 | コンピュータによる予測技術の最前線 | コンピュータによってさまざまな現象を再現することで予測するシミュレーション技術やコンピュータがデータを学習することで予測を行う機械学習が注目されています。本講座ではこのような技術の現状や新しい応用例を分かりやすく解説します。 | 長谷川 聖治(読売新聞東京本社 編集局次長) 長尾 智晴(横浜国立大学 環境情報研究院 教授) 白崎 実(横浜国立大学 環境情報研究院 准教授) 大野 かおる(横浜国立大学 工学研究院 教授) 干 強(横浜国立大学 工学研究院 教授) 勝地 弘(横浜国立大学 都市イノベーション研究院 教授) 横山 和秀(横浜国立大学 医学部 准教授) | 2017/8/28(月) 2017/8/29(火) 2017/8/31(木) | 横浜国立大学 教育文化ホール 大集会室 | 200 | 274 |
| 総合的 海洋教育・研究セン | 地域社会(一般) | 神奈川の海を知る 2017 | 神奈川県は東京湾と相模湾に隣接し、多くの海洋関連企業と研究開発機関が立地する。一方、湘南海岸という日本有数の観光と海洋レジャー地域がある。海神奈川の県民に身の周りにおける海についてのリテラシーを高めようとするため、現代日本の海洋政策のキーワードである総合的海洋管理の視点から市民講座を開設する。 | 総合的海洋教育・研究センター教員他 | 2017/5/17(水) 2017/5/31(水) 2017/6/14(水) 2017/6/28(水) 2017/7/12(水) | 横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号 クイーンズスクエア横浜 クイーンモール3階 一般社団法人横浜みなとみらい21 プレゼンテーションルーム | 100 | 355 |
| 環境情報研究院 | 現役世代社会人 | 土壌動物を使ってアクティブラーニング型授業を実践しよう | ダンゴムシやミミズなど土にすむ身近な動物。これらの土壌動物を使ったアクティブラーニング型授業の方法を、土壌動物学専門家、学校教員、博物館学芸員を交えて議論し、土壌動物学のおもしろさや意義を考えます。 | 峯下 隆志(一般社団法人日本青少年育成協会 主任研究員) 中森 泰三(横浜国立大学 環境情報研究院 准教授) | 2017/5/20(土) | 横浜国立大学 環境情報1号館 305室 | 30 | 10 |
| 地域実践教育研究 | 地域社会(一般) | 未来につなぐ神奈川の里山ー里地里山プロジェクト成果報告会ー | 2015~2016年度において、神奈川県立の大学発政策提案制度で本学地域実践教育研究センターと神奈川県とが協力して取り組んだ「里地里山の保全効果についての学際的研究」の成果報告を行います。 | 小池 治(横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授) 他 | 2017/5/26(金) | 図書館 メディアホール | 100 | 50 |
| 国際戦略推進機構 | 高校生 | 日本語教育と国際交流ー留学生との対話を通じてー | 世界の日本語学習者や日本で学ぶ留学生の数は過去30年の間に大きく増大しました。世界で日本語を学ぶ人々の素顔や、学習者から見た日本語の魅力など、日本語教育の現状を紹介します。後半は、YNUで学ぶ留学生を交え、日本語学習や留学の意義についてグループで話し合う機会を設けます。 | 小川 誉子美(横浜国立大学 国際戦略推進機構 教授) 中川 健司(横浜国立大学 国際戦略推進機構 教授) 半沢 千絵美(横浜国立大学 国際戦略推進機構 講師) 金 蘭美(横浜国立大学 国際戦略推進機構 講師) | 2017/6/3(土) 2018/2/17(土) | 国際教育センター 306教室 | 各30 | 29 |
| 教育学部 | 現役世代社会人 | 学校における合理的配慮と脳科学ーからだの不自由さやことばの障害のある子の例よりー | からだの不自由さやことばの障害のある子どもの学校における困難さの例、及び脳科学の視点から見たそれらの困難さの原因について概説します。それらを踏まえ、インクルーシブ教育システムにおいて求められる学校における合理的配慮の具体的な例を紹介します。 | 軍司 敦子(横浜国立大学 教育学部 准教授) 徳永 亜希雄(横浜国立大学 教育学部 准教授) | 2017/6/17(土) | 教育学部講義棟7号館101教室 | 100 | 24 |
| 教育学部 | 高校生 | 歩いて知ろう横浜・山手の歴史と地理 | みなさんの身近な場所には、その町の歴史や地理に関わる「痕跡」がたくさんあります。横浜・山手にもたくさんあるのですが、そのほとんどは見逃されています。この講座では、みなさんと一緒に歩きながら、そうした「痕跡」を宝探しのように見つけ出し、横浜・山手の歴史や地理について楽しく考えていきたいと思います。 | 吉田 圭一郎(横浜国立大学 教育学部 教授) 多和田 雅保(横浜国立大学 教育学部 教授) | 2017/6/17(土) | 保土ヶ谷公会堂(午前)および野外(午後) | 15 | 9 |
| 進男女共同参画推進 | 現役世代社会人 | ライフキャリア講座 PARTⅢ(二足のわらじ編)ー将来の仕事と生活について考えようー | ライフキャリアは、職業、家庭、地域活動、趣味、学びなど生活全般の中で果たす役割や経験の積み重ねのことをいいます。本講座は、仕事をしながら研究やNPOなどの活動に取り組むことにより自分自身を豊かにしている方々のお話を聞いた後に、参加者同士で話し合い、自身の仕事と生活、今後の方向性について考えます。 | 有光 直子(横浜国立大学 環境情報研究院 教授) 鈴木 紀子(横浜国立大学 男女共同参画推進センター 准教授) | 2017/6/24(土) | 横浜国立大学 教育文化ホール 中集会室 | 40 | 27 |

平成29年度開催公開講座一覧(全26講座) ※参加人数は複数日程の場合は延べ人数で集計

| 担当 | 講分 分 区 | 講座名 | 講座内容 | 担当講師 | 開催日 | 会場 | 募集人数 | 参加人数 |
|--|---------------------------------|---|---|---|--|--|------|------|
| 工学 研究 院 | 現 役 世 代 社 会 人 | 水道施設維持管理のための腐食 防食基礎講座 | 本学ではこれまでに、全国の水道技術者を対象に幅広い水道システムの課題をテーマとしたシンポジウム「持続可能な水道システムの確立」を8回開催しています。この度のスピノフ講座として、維持管理に特化した「腐食防食基礎」を若手・事務系・技術系すべての方々に参加頂ける実習型出前講座として開催します。 | 伊藤 大輔(横浜国立大学 工学研究院 特別研究教員) | (1)2017/6/29(木)～ 6/30(金) (2)2017/10/25(木)～ 10/26(金) (3)2018/2/8(木) ※中止 | (1) 佐世保市男女共同参画 推進センター「スピカ」 (2) 仙都會館 会議室 (3) 新潟市水道局水道研修 センター ※中止 | 40 | 39 |
| 都 市 工 学 研 究 院 | 現 役 世 代 社 会 人 | モビリティデザインサマース クール | 都市交通計画及び交通工学に携わる行政職員やエンジニア、都市交通計画及び交通工学を学ぶ若手研究者や学生を対象に、モビリティ・デザインの演習体験を通して、実践的な考え方を、以下の4部構成で学んでいただく。 1.モビリティデザインの基礎 2.応用理論 3.事例研究 4.実践演習 | 中村 文彦(横浜国立大学 理事・副学長) | 2017/7/8(土) | 横浜国立大学 土木工学棟 セミナールーム | 20 | 25 |
| 教 育 学 部 | 地 域 社 会 (一 般) | 快適被服を科学する —クールビズ・ウォームビズの実践— | 2011年の東日本大震災の影響で夏季の節電対策の一環として衣服の役割が注目されましたが、衣服は熱中症予防や健康・快適性維持にも貢献することが期待されています。暑熱環境下で温熱的快適性を維持するためにはクールビズ・ウォームビズで象徴されるような環境共生型の衣服の着方が大切です。どんな衣服が、夏季の暑熱条件下の熱水分移動性能に優れているか、冬季の保温性能に優れているのかを各々素材要因と、デザイン要因に分けて、紹介したいと思います。季節に適合し、環境にも優しく、着用者自身にとっても快適な衣生活を営むためには、なにが重要であるのか考えましょう。 | 藤本 弥生(横浜国立大学 教育学部 教授) | 2017/7/9(日) | 教育学部講義棟7号館102、 103室 | 50 | 22 |
| 理 工 学 部 | 高 校 生 | 第11回 海洋空間のシステムデ ザインカップ ひれ推進コンテ スト | 本コンテストでは、高校生に海や船・ものづくりの魅力を伝えるために講義とコンテストを実施する。まず7/17(月(海の日))(予定)に船や魚のひれに関する公開講座として講義を実施する。その後、8/26(土)までに各高校の参加チームにひれ推進模型を製作してもらい、これらを大型実験水槽にて走らせ、そのスピードを競うコンテストを行う。なお、講義の内容は以下の通りである。「(1) 船はどんなふう浮く? (2) 船はどうやったら速く走れる? (3) ひれ推進模型の制御について」 | 鈴木 和夫(横浜国立大学 工学研究院 教授) 村井 基彦(横浜国立大学 環境情報研究院 准教授) 川村 恭己(横浜国立大学 工学研究院 教授) 平川 嘉昭(横浜国立大学 工学研究院 准教授) 樋口 丈浩(横浜国立大学 環境情報研究院 准教授) 高山 武彦(横浜国立大学 工学研究院 特別研究教員) | 2017/7/17(月祝) 2017/8/26(土) | 7/17: 中央図書館メディア ホール 8/26: 船舶海洋工学棟3階 講義室、大型実験水槽 | 60 | 125 |
| 機 器 分 析 評 価 セ ン タ ー | 高 校 生 | 高校生のための分析入門講座 「テクノワールド 2017」 —最先端の分析機器を体験しよう— | 大学の研究で用いる最先端の分析機器の操作体験をしてみよう。 分析装置の原理を理解し、身近なものを対象に自分で操作して観察・分析を行います。 実習予定テーマ: ・材料の内部を透かして見よう(透過電子顕微鏡・TEM) ・物を立体的に見てみよう(走査型電子顕微鏡・SEM) ・飲み物の成分を調べてみよう(質量分析装置・MS) ・放射線を見てみよう(イメージアナライザー) ・宝石は何で出来ている?(X線回折・XRD,エネルギー分散型X線分析・EDX) | 栗原 靖之(横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 谷村 誠(横浜国立大学 機器分析評価センター 准教授) 中川 哲也(横浜国立大学 大学院工学研究院 助教) 石原 晋次(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 近藤 正志(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 田中 陽一郎(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 高梨 基治(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 吉原 直希(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 金田 祐子(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術補佐員) 佐藤 道夫(明治大学 農学研究科 特任講師) | 2017/7/26(水) | 機器分析評価センター | 24 | 23 |
| 機 器 分 析 評 価 セ ン タ ー | 現 役 世 代 社 会 人 | バイオテクノロジー実験講座 先端バイオテクノロジーを理解 する ～遺伝子工学と細胞工学～ | 本講座は、高校教員や学生、一般の方を対象として、進歩を続けるバイオテクノロジーの理解を深めることを目的としています。遺伝子工学や細胞工学についての基礎を学習し、実際に先端的な機器や培養細胞を使用して実験を行うことで、食品、医療、農業等の様々な分野で応用されている重要な技術を学びます。 | 栗原 靖之(横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 田中 陽一郎(横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) | 2017/8/1(火) 2017/8/2(水) | 生物・電子情報棟3階301室 機器分析評価センター R 1 教育研究施設 一般実験 室 機器分析評価センター2階 212-2室 | 5 | 10 |
| 経 営 学 部 | 高 校 生 | ビジネスゲームで学ぶマーケ ティング | ビジネスゲームは経営を疑似体験するゲームの事を言います。ビジネスゲームは大学、大学院、企業において経営を学ぶ手段として広く使われるようになっていきます。本講座では高校生の皆さんにビジネスゲームを通じて企業の活動の1つであるマーケティングについて学んで頂きます。 | 佐藤 亮(横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授) 田名部 元成(横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授) 鶴見 裕之(横浜国立大学 国際社会科学研究院 准教授) | 2017/8/4(金) | 経営学部 PC教室 | 40 | 36 |

平成29年度開催公開講座一覧(全26講座)

※参加人数は複数日程の場合は延べ人数で集計

| 担当 | 講分 分 区 | 講座名 | 講座内容 | 担当講師 | 開催日 | 会場 | 募集人数 | 参加人数 |
|------------|--------------|--|--|--|---------------|---------------------|------|------|
| 教育学部 | 高校生 | ストレスの仕組みとストレスとの付き合い方 | ストレスを経験せずに日常生活を送ることができれば、それに越したことはないですが、実際はそう上手くいきません。それでは、そもそも私たちはどのように「ストレス」を経験するのでしょうか。本講座では、「ストレス」を経験する仕組みを紹介し、どのように対処することが日常生活を送る上で重要なのかを考えていきます。 | 高本 真寛 (横浜国立大学 教育学部 講師) | 2017/8/10 (木) | 教育学部講義棟7号館103室 | 70 | 38 |
| 教育学部 | 高校生 | 学習の科学 —心理学から学習について考えてみよう— | 心理学とは、実験や調査などを通して、人の行動や心について探究する学問です。この講義では、心理学実験を実際に体験しながら、学習や教育についてどのように研究しているのかを紹介します。また、心理学の研究成果から、どのような学習方法が効果的であるのかについて考えていきます。 | 鈴木 雅之 (横浜国立大学 教育学部 講師) | 2017/8/21 (月) | 教育学部講義棟7号館104室 | 50 | 52 |
| 情報基盤センター | 高校生 | 初心者のためのプログラミング体験入門 —Processingによるグラフィカルなプログラム作成— | 本講座は、高校生を対象としたプログラミング入門講座です。グラフィックスやインタラクションに関する簡単なプログラムをProcessingで作成し、その楽しさを体験します。Processingとは、比較的簡単に視覚的な表現が可能なプログラミング言語であり、無償で環境を用意でき、初心者でも学びやすい言語です。 | 塩野 康徳 (横浜国立大学 情報基盤センター 助教) | 2017/9/2 (土) | 情報基盤センター PC教室 | 30 | 23 |
| 機器分析評価センター | 現役世代社会人 | 固体材料解析の基礎講座 | 本講座は、経験が浅い実務者を対象として、材料(固体)の特徴を理解するための基礎を習得することを目的としています。解析によく用いられるX線回折法(XRD)、透過電子顕微鏡法(TEM)および走査型電子顕微鏡法(SEM)に焦点を絞り、それぞれの基本原理を講座で学習し、実習によって実践的な活用を学ぶことが出来ます。 | 松本 真哉 (横浜国立大学 環境情報研究院教授 教授) 谷村 誠 (横浜国立大学 機器分析評価センター 准教授) 近藤 正志 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 吉原 直希 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 金田 祐子 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術補佐員) | 2017/9/8(金) | 機器分析評価センター | 12 | 11 |
| 教育学部 | 地域社会(一般) | イタリア音楽紀行 —春の祭りカーニバルの音楽と踊り— | 未定 | 金光真理子 (横浜国立大学 教育学部 准教授) | 2017/9/21 (木) | 横浜国立大学 教育文化ホール 大集会室 | 200 | 129 |
| 教育学部 | 地域社会(一般) | レクチャーコンサート：ピアノ曲からみた音楽と社会 | 未定 | 金光真理子 (横浜国立大学 教育学部 准教授) 森野 かおり (横浜国立大学 教育学部 講師) | 2017/9/26 (火) | 横浜国立大学 教育文化ホール 大集会室 | 200 | 137 |
| 機器分析評価センター | 現役世代社会人 | 実践機器分析基礎講座(A)「成分分析の実際」 「分ける」「見つける」「調べる」を一度に実現！ LC/MS(液体クロマトグラフィー質量分析) | 食品・天然物・工業製品などの機能や効能を決めるのは、含まれる「成分」です。中でも特別な機能を有するものは、多様な分子構造を持つ「有機化合物」が主要なターゲットになります。本講座では、機器分析による食品類の有機成分分析の実験を通じて、その基礎を体験学習します。 | 中川 哲也 (横浜国立大学 工学研究院 助教) 石原 晋次 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) | 2017/9/27 (水) | 機器分析評価センター | 8 | 6 |
| 教育学部 | 地域社会(一般) | なぜ物理学を学ぶのか | 私たちの身の回りにはたくさんの物理現象が存在します。それらの物理現象は、学問とは異なり、意識することなく受け入れられています。しかし、学問としての物理は、受け入れられない人が多いことが分かっています。では、そのような学問を学ぶ意味について、歴史的背景とともに考えていきたいと思います。 | 古本 猛憲 (横浜国立大学 教育学部 准教授) | 2017/10/7 (土) | 教育学部講義棟7号館210室 | 30 | 31 |

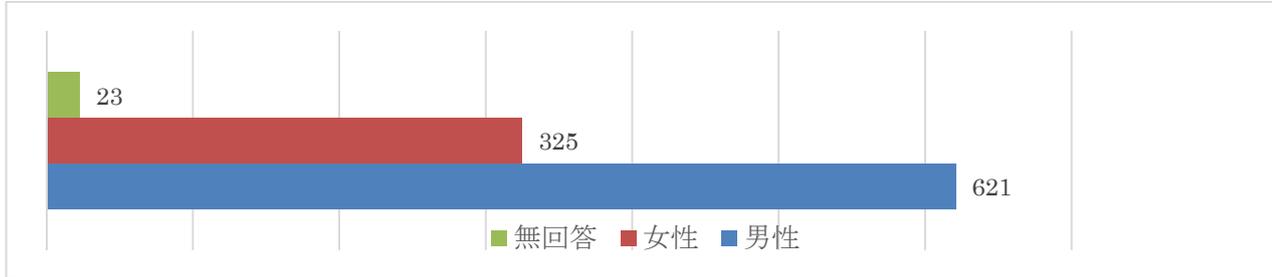
平成29年度開催公開講座一覧(全26講座)

※参加人数は複数日程の場合は延べ人数で集計

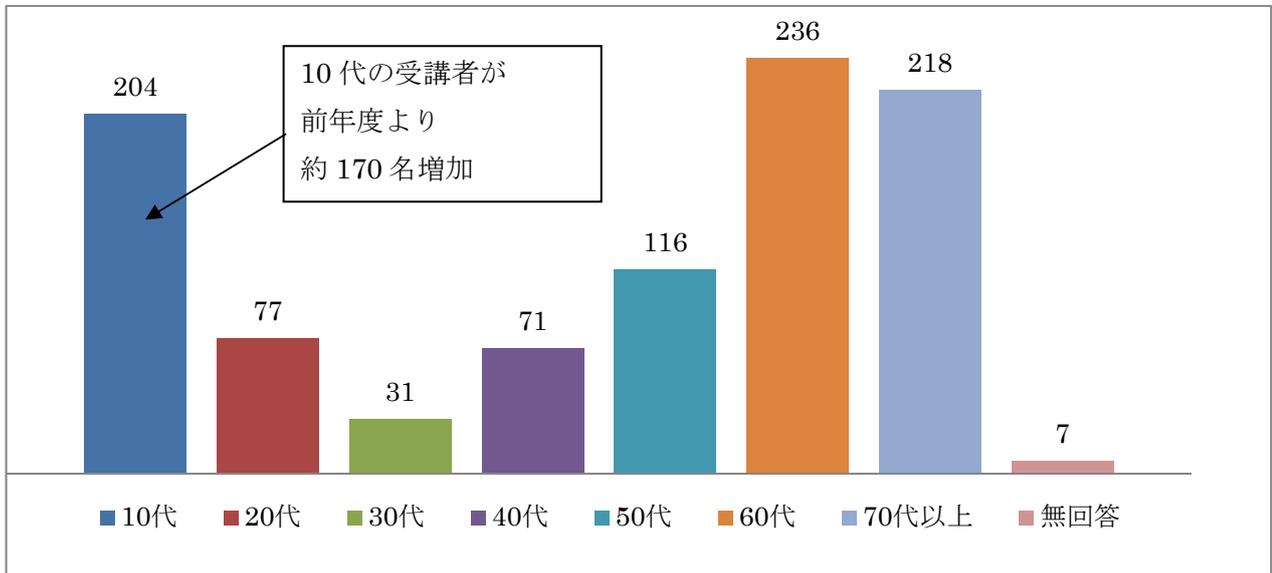
| 担当 | 講分 分 区 | 講座名 | 講座内容 | 担当講師 | 開催日 | 会場 | 募集人数 | 参加人数 |
|-------------------|-----------|--|--|--|---|--|------|------|
| 教育学部 | 地域社会(一般) | 歩いて見に行こう神奈川の歴史と地理 (3) 鎌倉, (4) 吉田新田 | みなさんの身近な場所には、その町の歴史や地理に関わる「痕跡」がたくさんあります。普段は見過ごしているそれらに気がついたり、見つけ出したりすることは宝探しに似た面白さがあります。この講座では、みなさんと一緒に歩きながら、そうした「痕跡」を探し出し、町の歴史や地理について楽しく考えていきたいと思います。 | 吉田 圭一郎(横浜国立大学 教育学部 教授) 多和田 雅保(横浜国立大学 教育学部 教授) | 2017/10/28(土) 2017/11/11(土) | 10/28: 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校(午前)、および野外(午後) 11/11: かながわ県民センター(午前)、および野外(午後) | 15 | 27 |
| 経済学部 | 地域社会(一般) | 現代の食料・農業・農村～日本・中国・インド | 現代のとりわけアジアにおける食料事情、農業事情、農村事情に焦点を当て、日本、中国、インドそれぞれの専門の先生方に、世界との関わり、日本との関わりを意識しつつ講義していただきます。 | 池島 祥文(横浜国立大学 国際社会科学研究院 准教授) 張 馨元(横浜国立大学 国際社会科学研究院 准教授) 岡部 純一(横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授) | 2017/11/10(金) 2017/11/17(金) 2017/11/24(金) | 横浜国立大学 教育文化ホール 中集會室 | 50 | 116 |
| オリンピック特別公開講座・パラリン | 地域社会(一般) | オリンピック・パラリンピック特別公開講座2017 県民とともに考えるオリンピック・パラリンピックの意義と横浜国大の役割 | 障がい者スポーツを含むスポーツ振興を切り口として、県民にとってのスポーツの意義や地域における国立大学が果たす役割、地域社会や自治体と大学との連携の在り方などについて、オリンピック・パラリンピックメダリストと本学教員、卒業生の対談を通し探っていきます。 | 鈴木 大地(スポーツ庁 長官) 岡崎 助一(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会SCO) 河合 純一(独立行政法人 日本スポーツ振興センター 主任専門職) 桂治(国士舘大学 准教授) 鈴木 文子(株式会社エディオン 女子陸上競技部) 木村 昌彦(横浜国立大学 教育学部 教授) | 2017/11/17(金) | 横浜国立大学 教育文化ホール 大集會室 | 200 | 292 |
| | | | | | | | 1579 | 1920 |

平成 29 年度 各部局開催の公開講座 参加者アンケートの集計結果

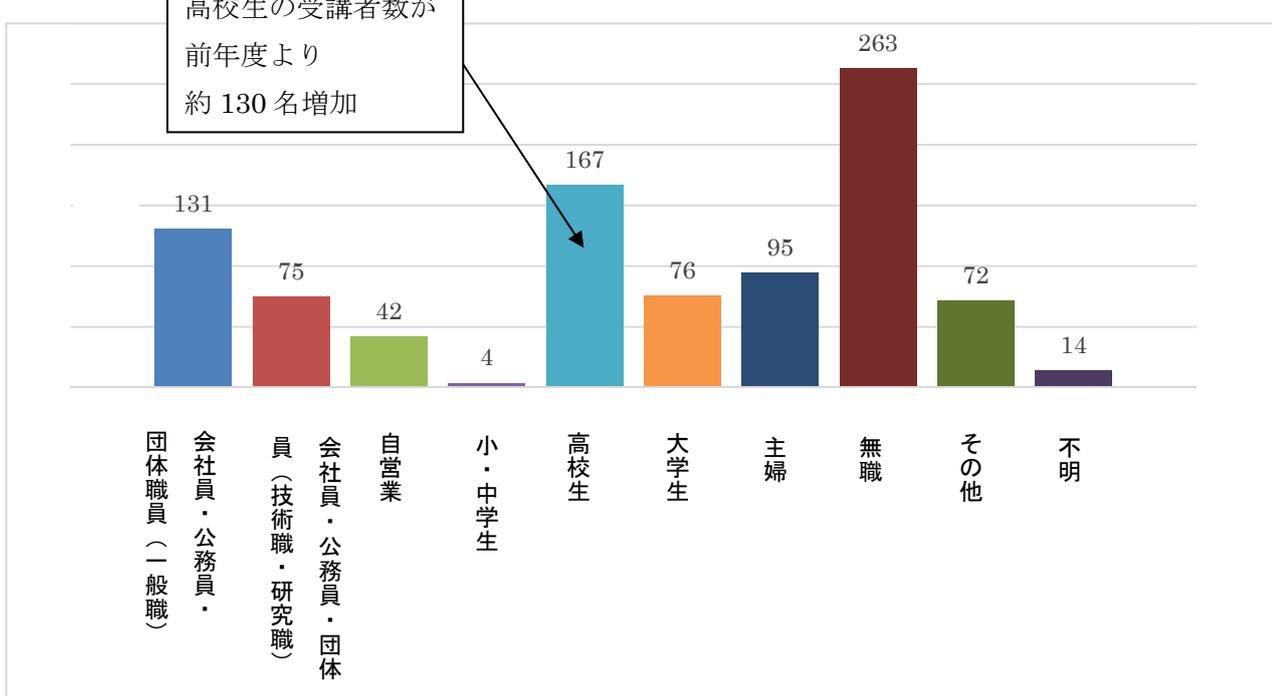
性別



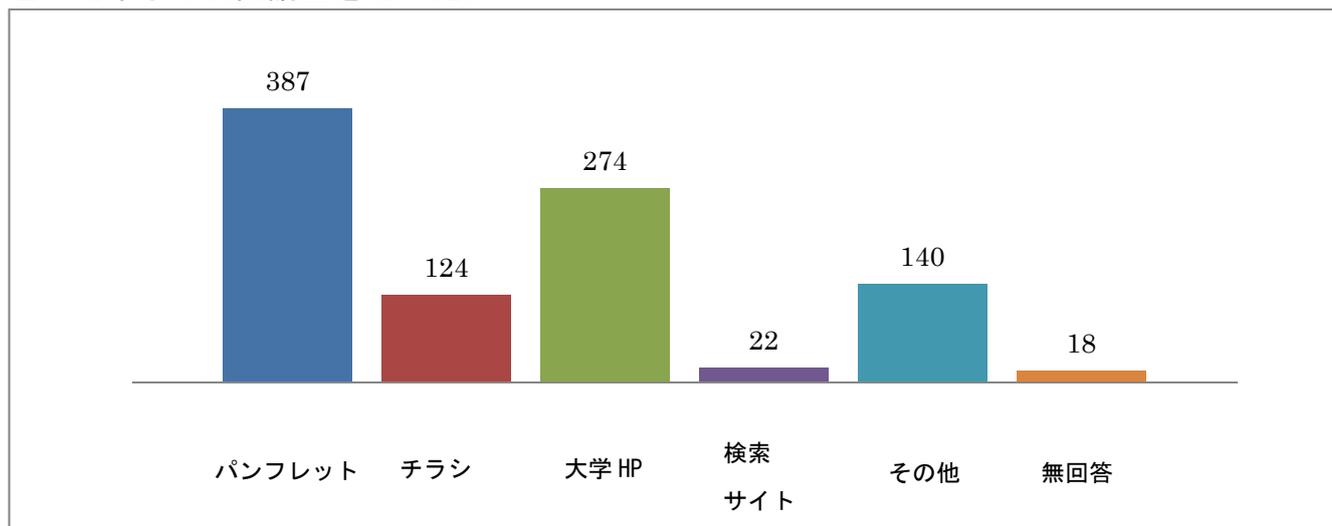
年代別



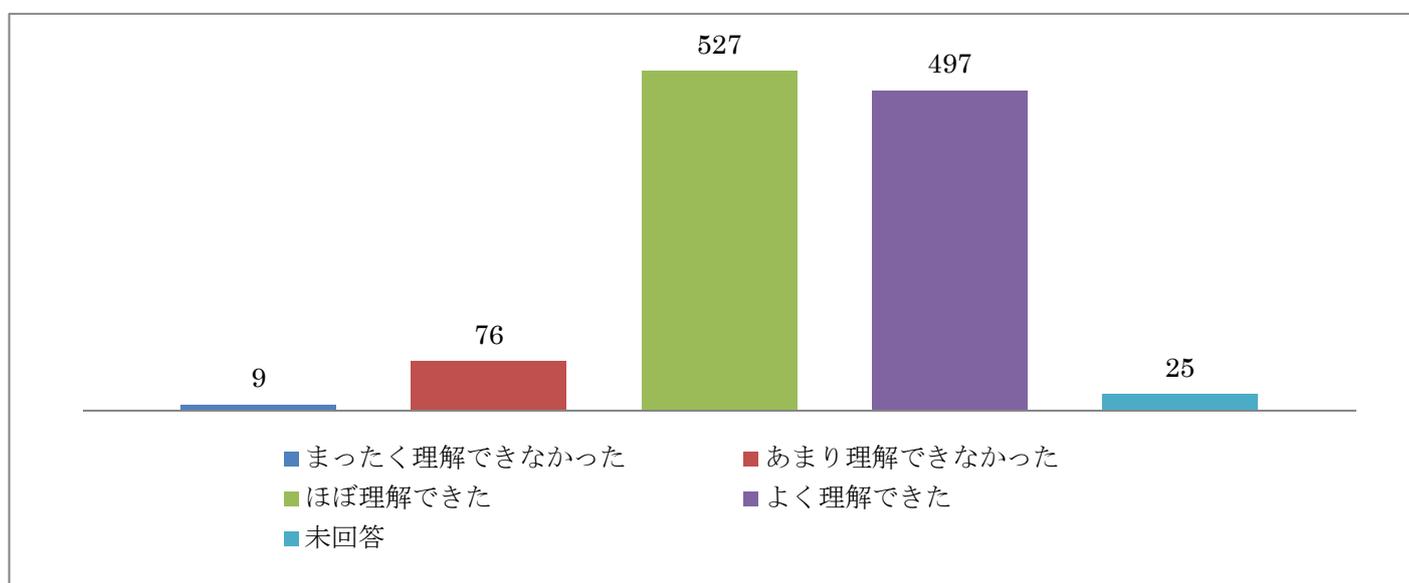
職業別



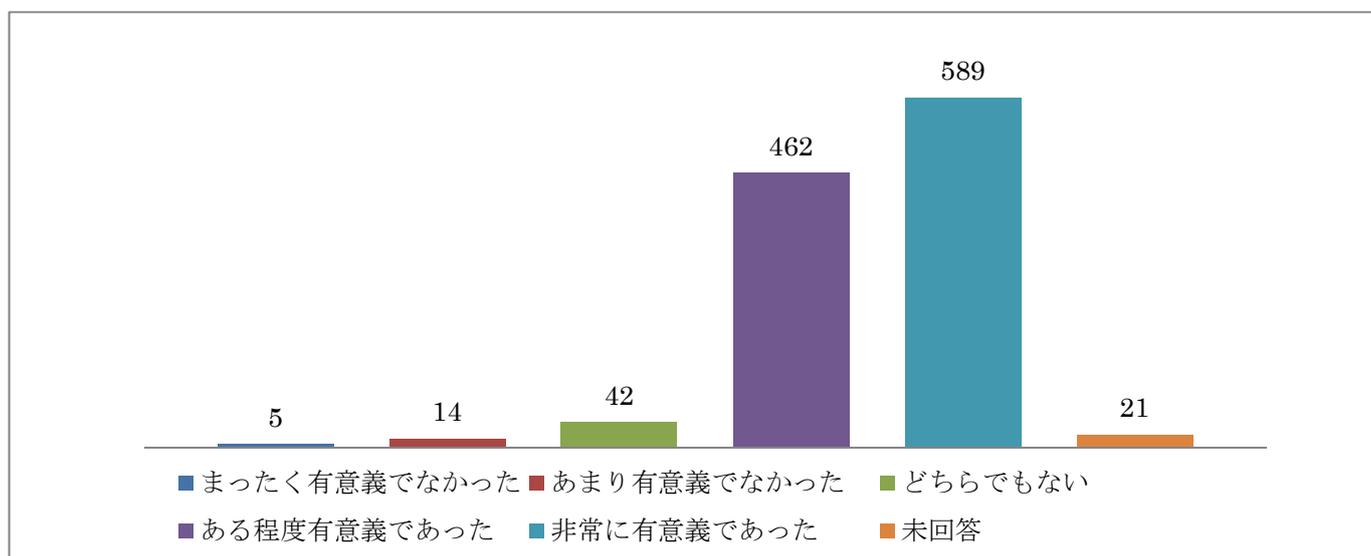
どこで本学の公開講座を知ったか



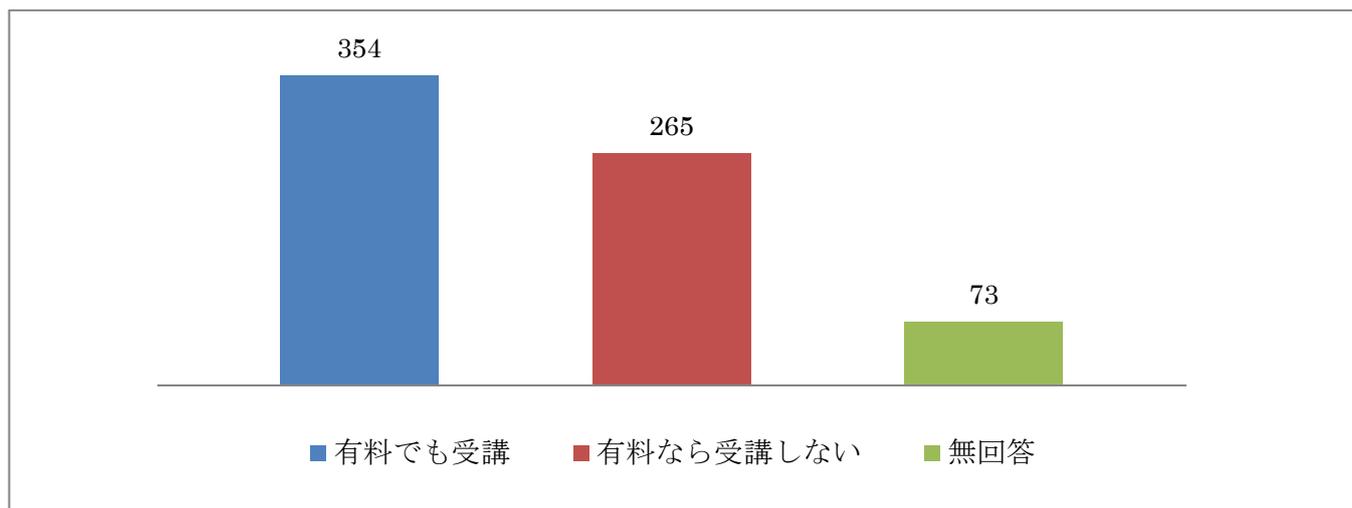
講座内容について理解できたか



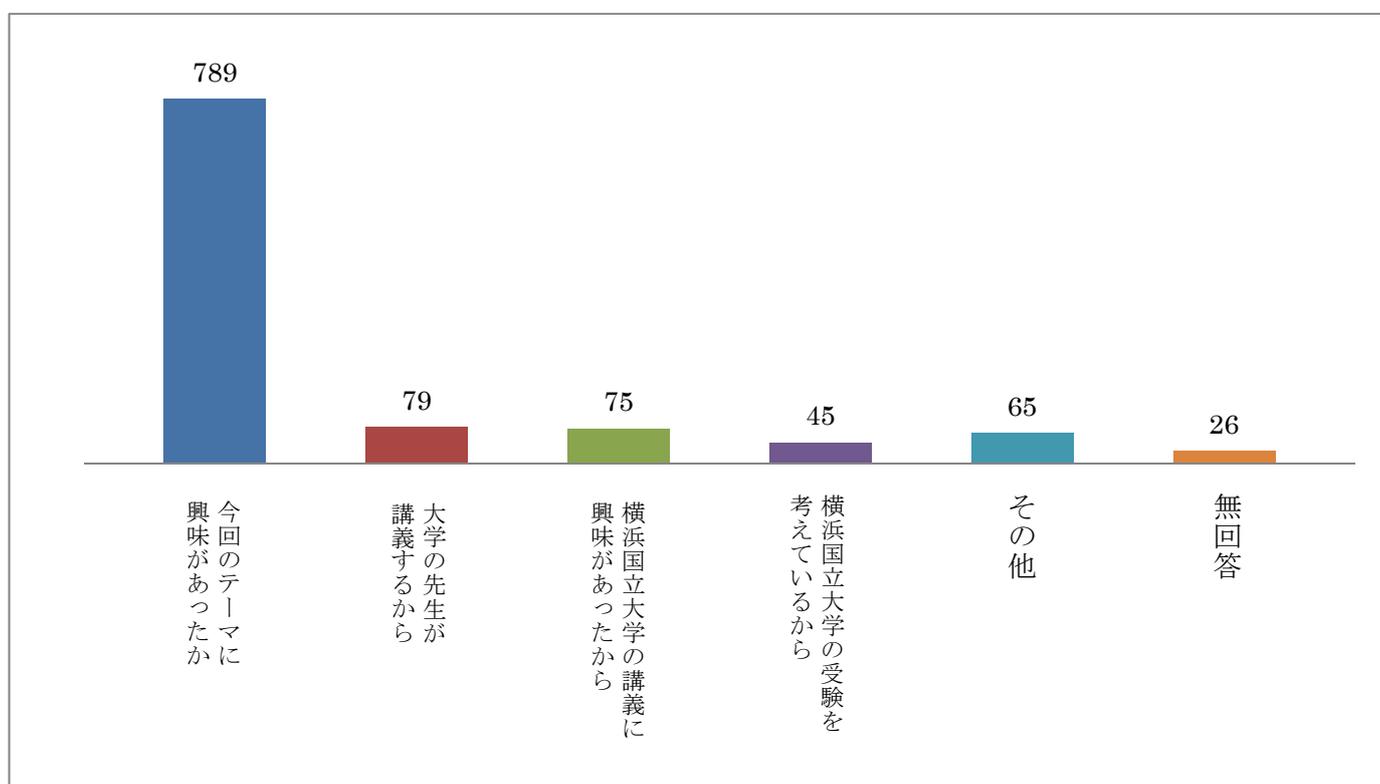
受講して有意義であったと思うか



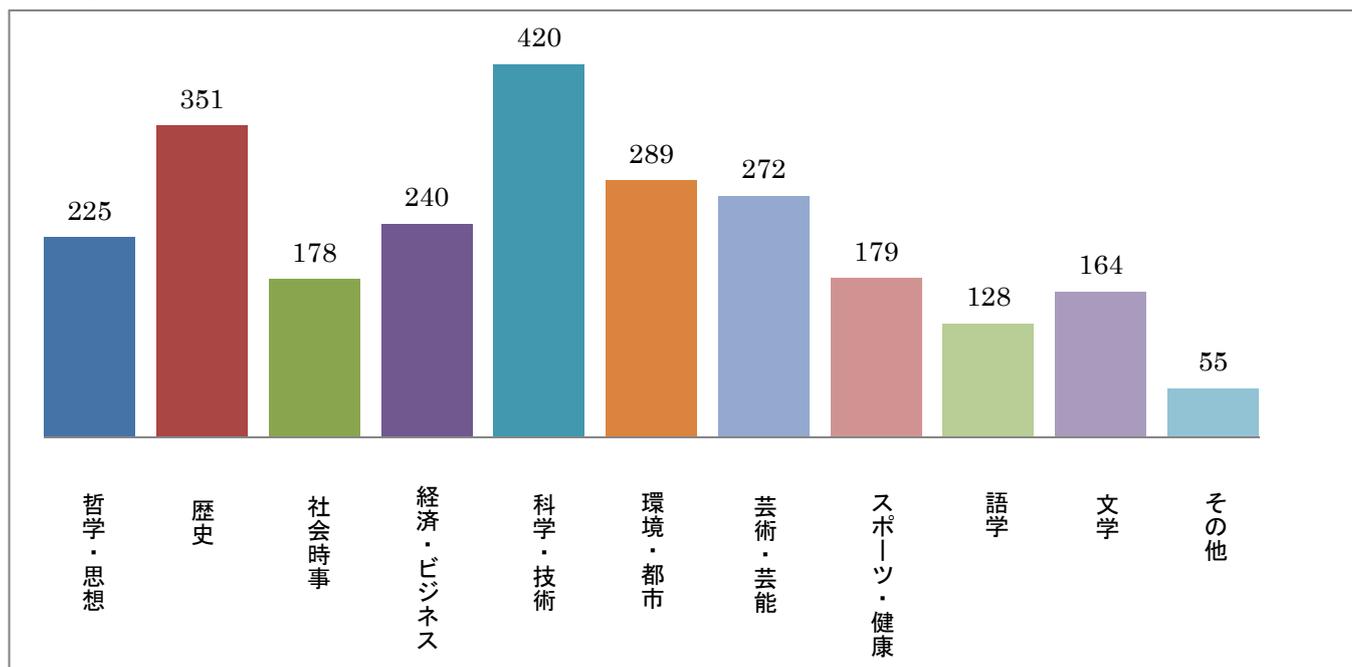
受講料について（無料講座の場合）



今回の公開講座の受講動機について

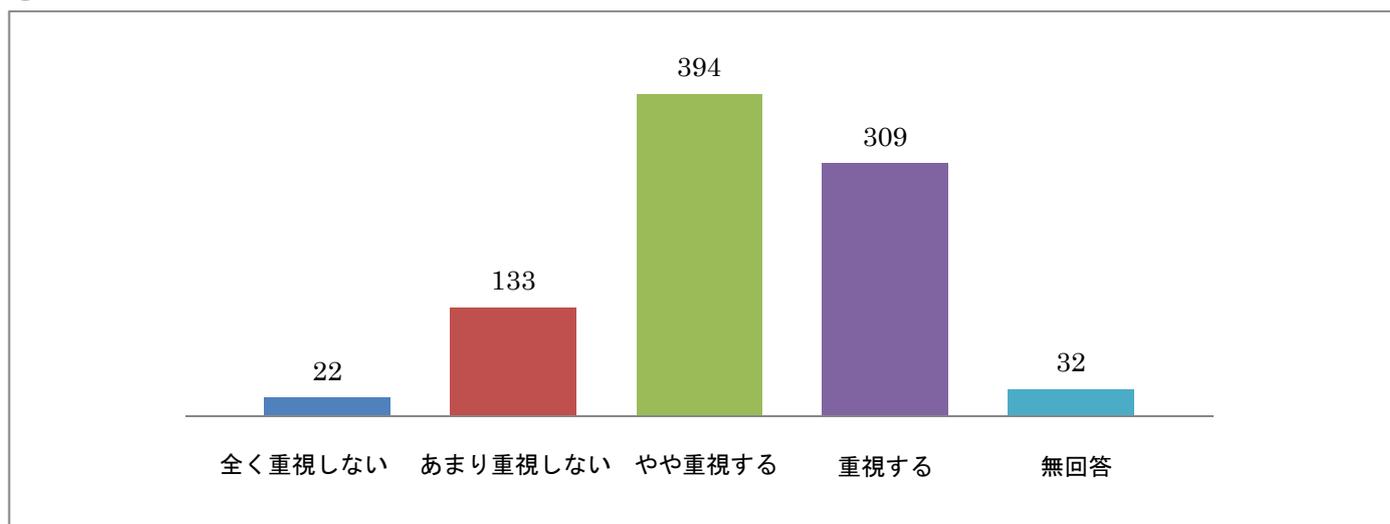


今後希望するテーマ

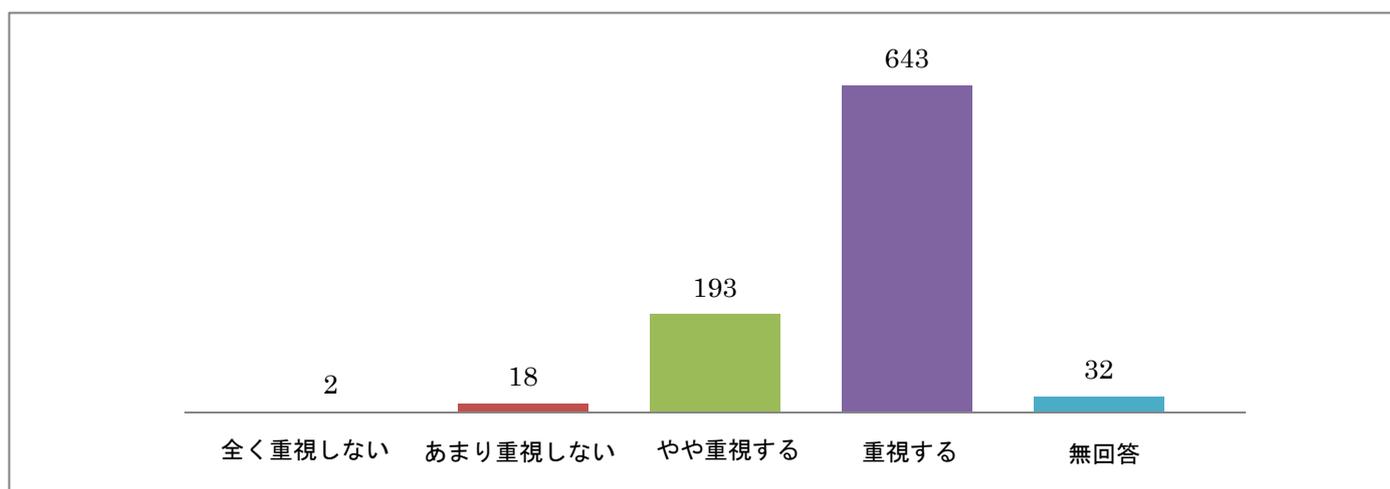


受講を決める際に、以下のことをどの程度重視するか

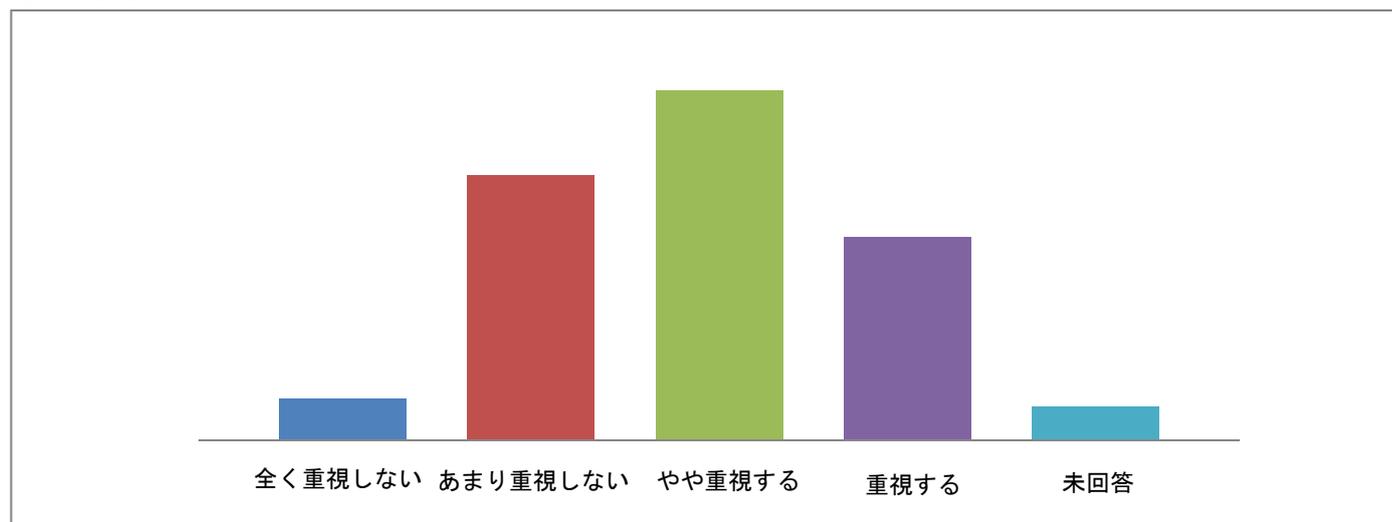
① 講座名



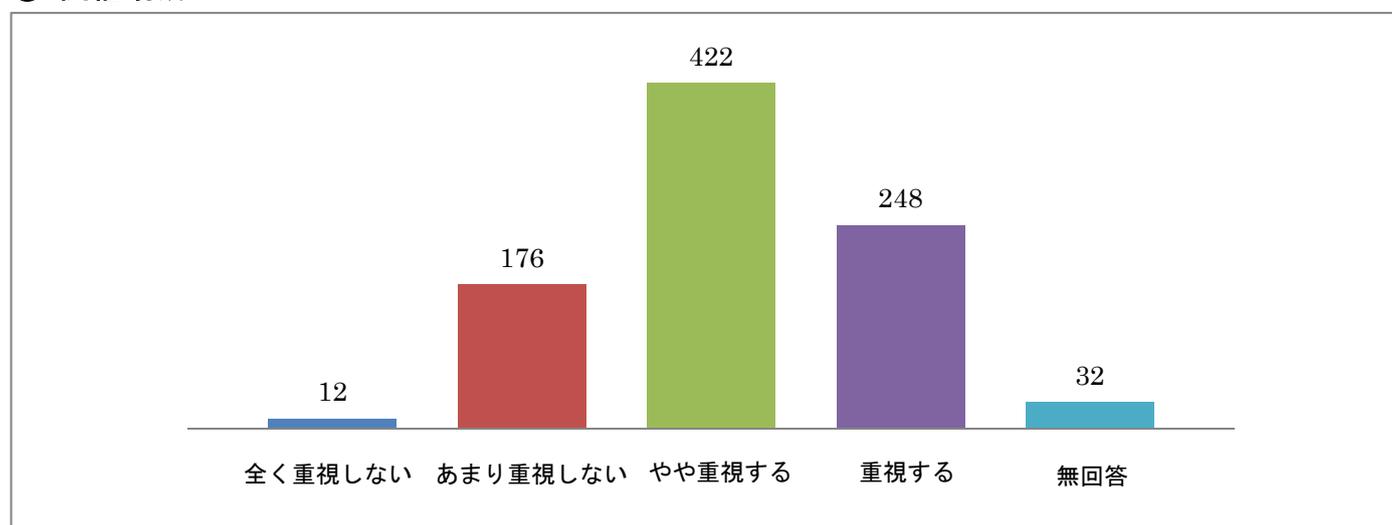
② 講座内容



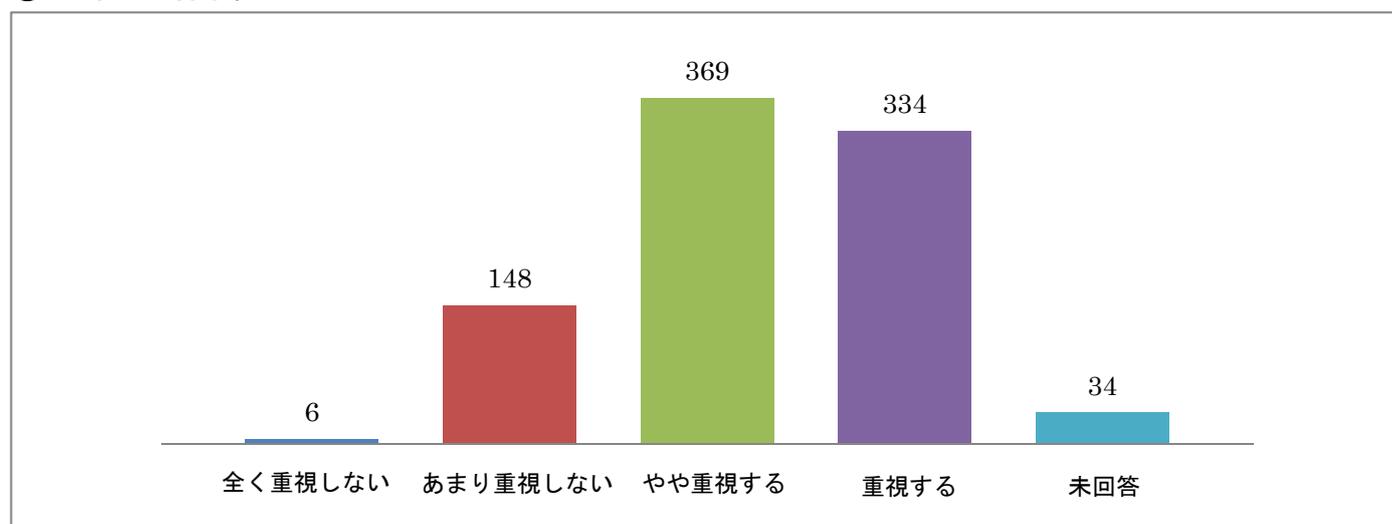
③ 主催機関



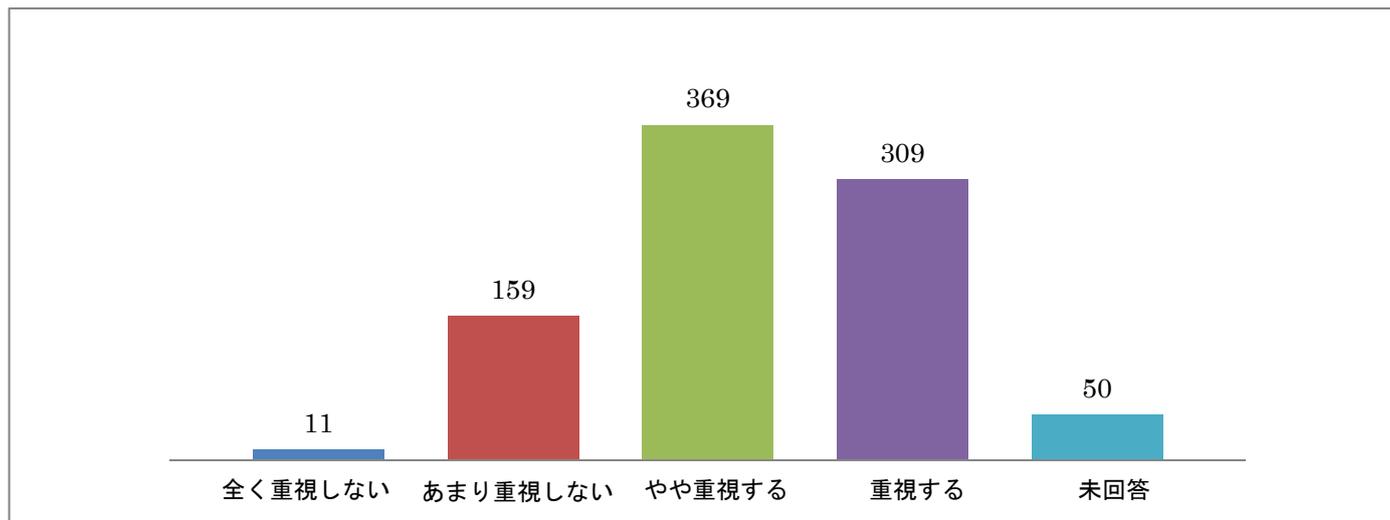
④ 開催場所



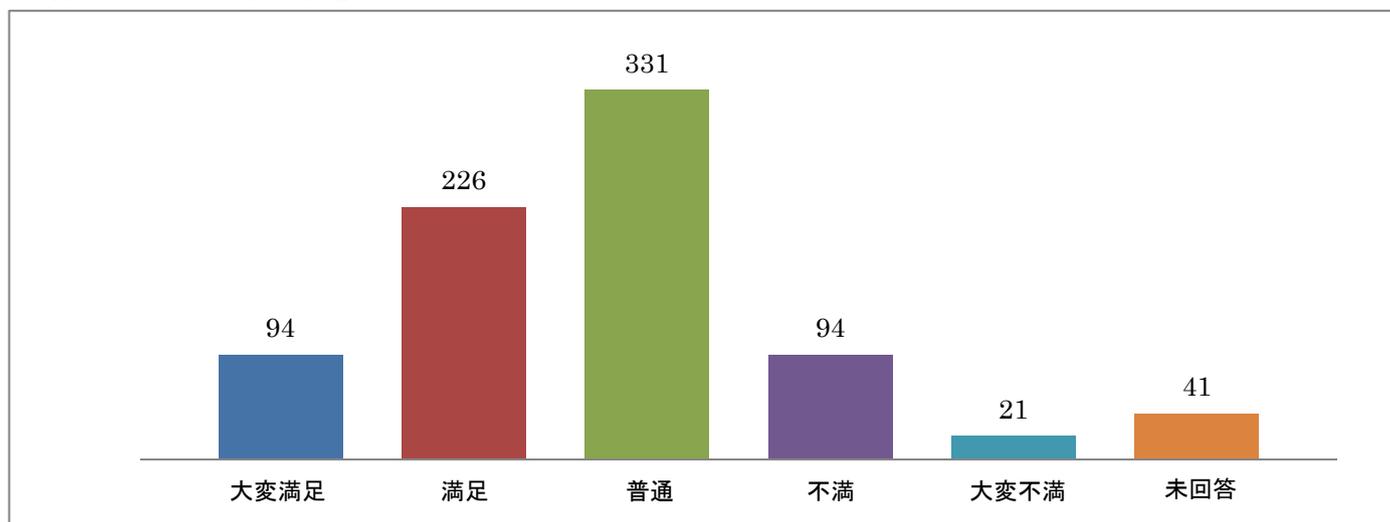
⑤ 日程・時間帯



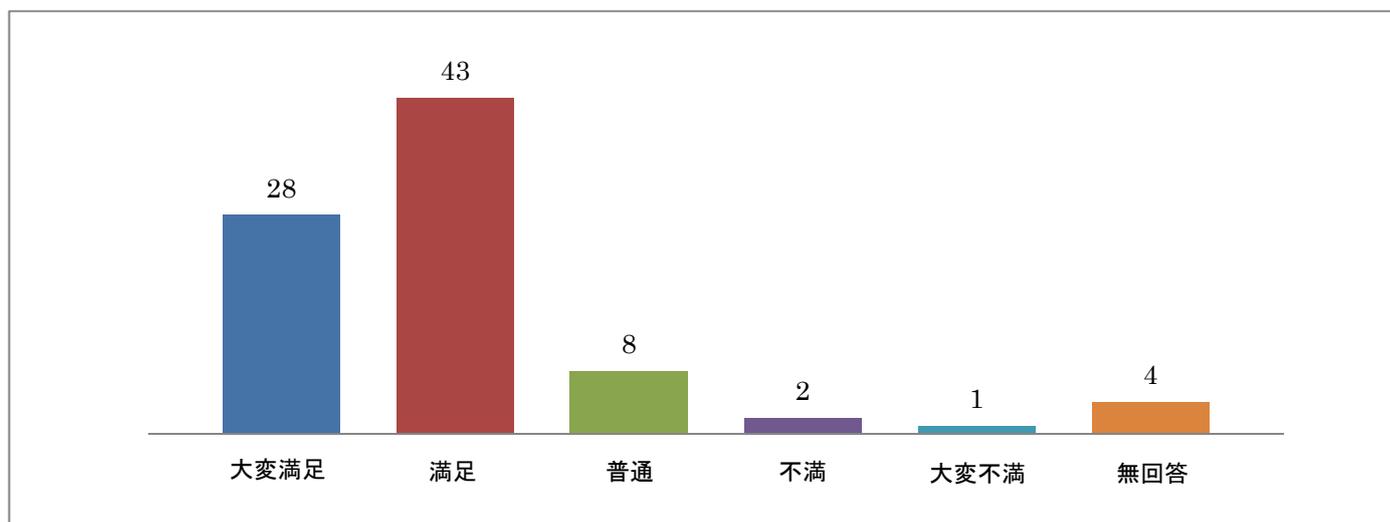
⑥ 受講料



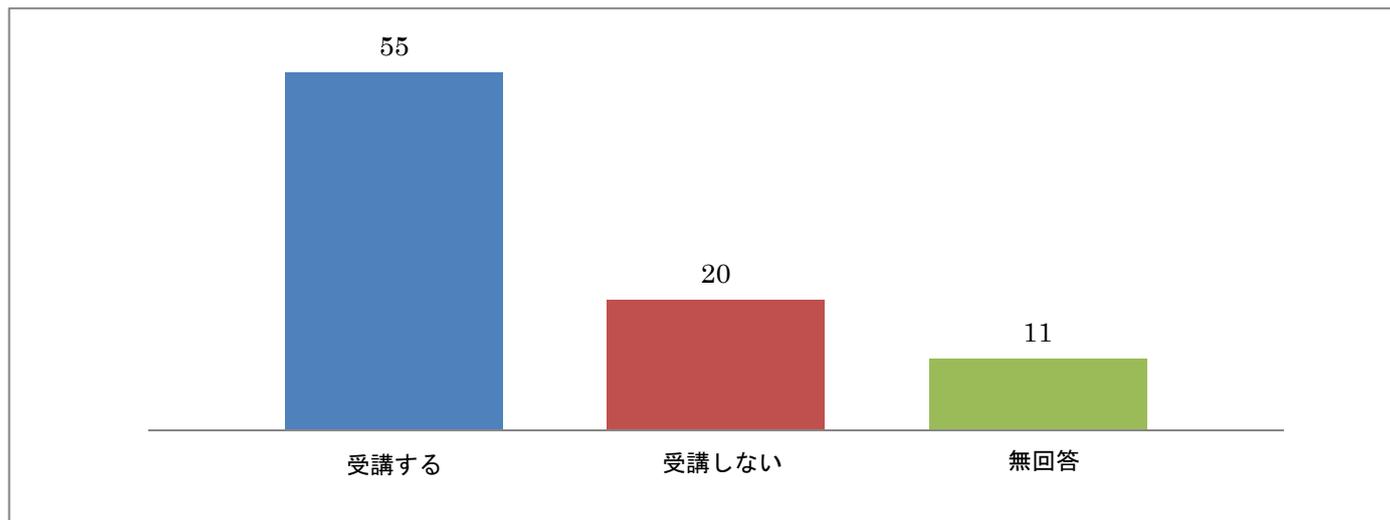
会場について（学内開催）



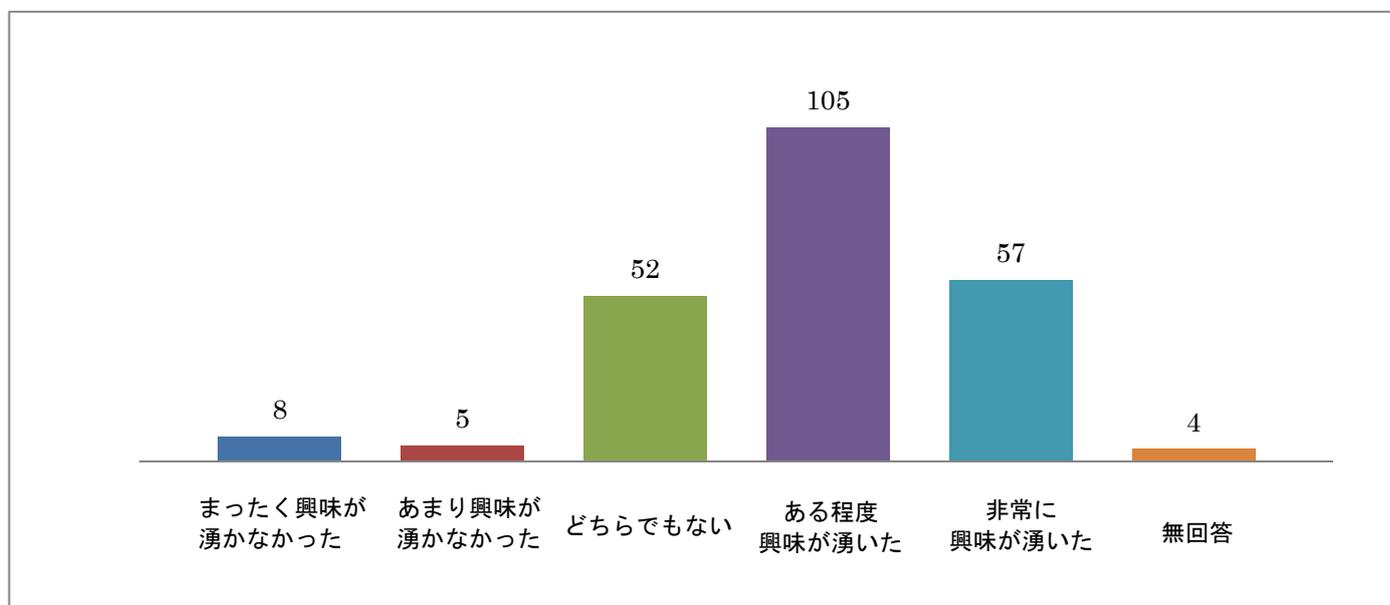
会場について（学外開催）



次回この講座が横浜国立大学 常盤台キャンパスでの開催の場合（学外開催）



この講座を受講して横浜国立大学への興味が湧いたか（高校生）



公開講座委員会主催

「コンピュータによる予測技術の最前線

ーコンピュータ利用によって開かれた理工学における新しい視点ー」 実施報告

◆総括

本講座は本学と読売新聞横浜支局の共催で、横浜国立大学教育文化ホールにおいて2017年8月28日（月）、8月29日（火）、8月31日（木）の3日間、計7回開催されました。

本年度のテーマは「コンピュータによる予測技術の最前線ーコンピュータ利用によって開かれた理工学における新しい視点ー」であり、コンピュータによって様々な現象を再現することで予測するシミュレーション技術や、コンピュータがデータを学習することで予測を行う機械学習など、コンピュータ技術の現状や新しい応用例を専門家がわかりやすく解説する講義でした。今年度は初めて「高校生向け」として企画・開催したこともあり、高校生22名を含む61名の申し込みがありました。

実際の受講者は平均39名でした。そのうち4回以上出席の方は申込者の約47%の29名であり、その受講者に修了証が授与されました。

アンケート結果を見ると受講の動機の64%は「コンピュータによる予測技術の最前線」というテーマへの興味でした。全体で73%の受講生が「よく理解できた」あるいは「ほぼ理解できた」と回答しており、84%の受講生が「非常に有意義であった」もしくは「ある程度有意義であった」と回答しており、今回の講座に対して高い評価が得られたものと考えます。また、高校生の68%が本学へ「非常に興味が湧いた」もしくは「ある程度興味が湧いた」と回答しており、高校生向けの講座として、ある程度の成果があったものと考えます。

本年度の全学公開講座の実施にあたって、7人の講師の先生はもちろんのこと、熱心に受講された方々、告知や記事掲載をしていただいた支局長をはじめ読売新聞横浜支局の方、講座の実施に心から尽力いただいた事務局の皆様に深く感謝いたします。

◆申込者数 61名

◆申込者の年代

| 年代 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 総計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 人数(名) | 23 | 9 | 3 | 1 | 5 | 5 | 15 | 61 |

◆受講者数（出席カード提出者数）

| 開催日 | 講師 | 受講者数（名） |
|-------|-------------------------|---------|
| 8月28日 | 読売新聞東京本社 長谷川 聖治 編集局次長 | 47 |
| 8月28日 | 大学院工学研究院 于 強 教授 | 48 |
| 8月28日 | 大学院都市イノベーション研究院 勝地 弘 教授 | 50 |
| 8月29日 | 大学院工学研究院 大野 かおる 教授 | 31 |
| 8月29日 | 大学院環境情報研究院 白崎 実 准教授 | 33 |
| 8月31日 | 大学院環境情報研究院 長尾 智晴 教授 | 33 |
| 8月31日 | 横浜市立大学医学部泌尿器科 槇山 和秀 准教授 | 32 |

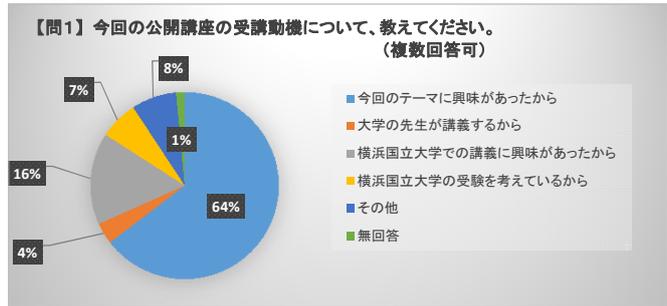
◆修了証授与数 29 名

全7回中、全4回出席した者に修了証書を授与

平成29年度 公開講座委員会主催主催
公開講座アンケート結果

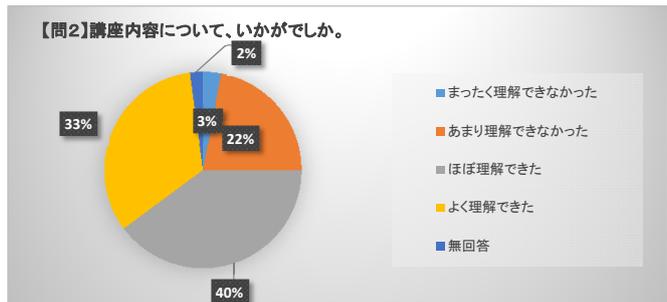
【問1】今回の公開講座の受講動機について、教えてください。
(複数回答可)

| | |
|-------------------|-----|
| 今回のテーマに興味があったから | 175 |
| 大学の先生が講義するから | 10 |
| 横浜国立大学での講義に興味があった | 43 |
| 横浜国立大学の受験を考えているから | 18 |
| その他 | 21 |
| 無回答 | 4 |



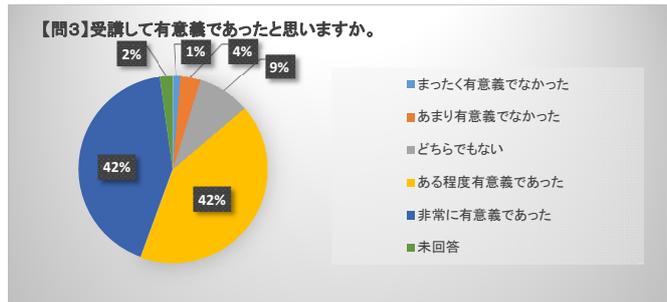
【問2】講座内容について、いかがでしたか。

| | |
|--------------|----|
| まったく理解できなかった | 7 |
| あまり理解できなかった | 52 |
| ほぼ理解できた | 94 |
| よく理解できた | 78 |
| 無回答 | 5 |



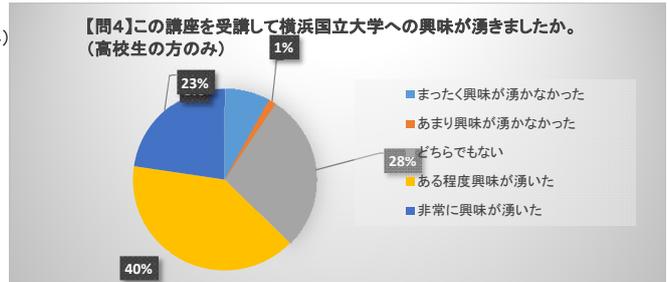
【問3】受講して有意義であったと思いますか。

| | |
|--------------|----|
| まったく有意義でなかった | 3 |
| あまり有意義でなかった | 8 |
| どちらでもない | 21 |
| ある程度有意義であった | 98 |
| 非常に有意義であった | 99 |
| 未回答 | 5 |



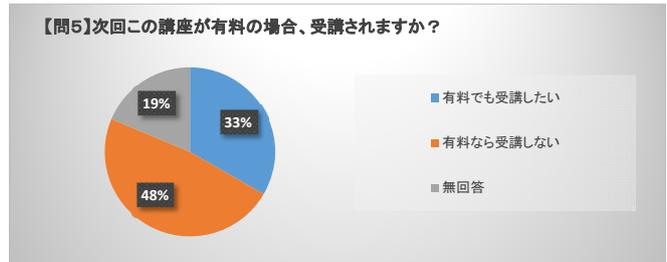
【問4】この講座を受講して横浜国立大学への興味が湧きましたか。
(高校生の方のみ)

| | |
|---------------|----|
| まったく興味が湧かなかった | 6 |
| あまり興味が湧かなかった | 1 |
| どちらでもない | 21 |
| ある程度興味が湧いた | 30 |
| 非常に興味が湧いた | 17 |



【問5】次回この講座が有料の場合、受講されますか。

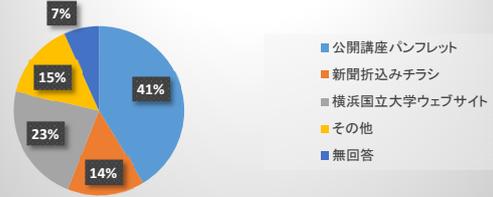
| | |
|-----------|----|
| 有料でも受講したい | 50 |
| 有料なら受講しない | 72 |
| 無回答 | 28 |



【問6】公開講座をどこで知りましたか。(複数回答可)

| | |
|--------------|----|
| 公開講座パンフレット | 62 |
| 新聞折込みチラシ | 22 |
| 横浜国立大学ウェブサイト | 34 |
| その他 | 22 |
| 無回答 | 10 |

【問6】公開講座をどこで知りましたか。(複数回答可)

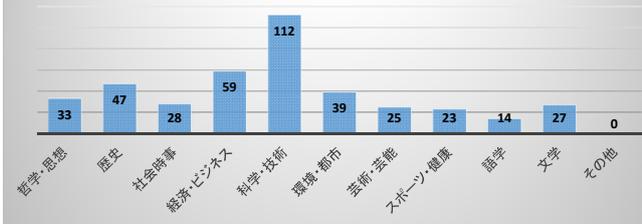


(問7以下は、初回の受講者のみ記入)

【問7】今後、どのような内容の講座を希望されますか。(複数回答可)

| | |
|---------|-----|
| 哲学・思想 | 33 |
| 歴史 | 47 |
| 社会時事 | 28 |
| 経済・ビジネス | 59 |
| 科学・技術 | 112 |
| 環境・都市 | 39 |
| 芸術・芸能 | 25 |
| スポーツ・健康 | 23 |
| 語学 | 14 |
| 文学 | 27 |
| その他 | 0 |

【問7】今後、どのような内容の講座を希望されますか。(複数回答可)



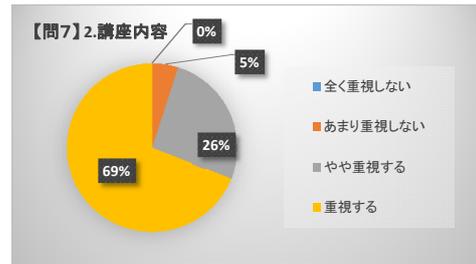
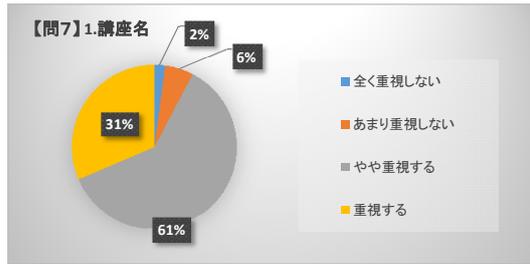
【問8】公開講座の受講を決める際に、以下のことをどの程度重視されますか。

1. 講座名

| | |
|----------|----|
| 全く重視しない | 3 |
| あまり重視しない | 8 |
| やや重視する | 87 |
| 重視する | 45 |

2. 講座内容

| | |
|----------|----|
| 全く重視しない | 0 |
| あまり重視しない | 7 |
| やや重視する | 37 |
| 重視する | 98 |

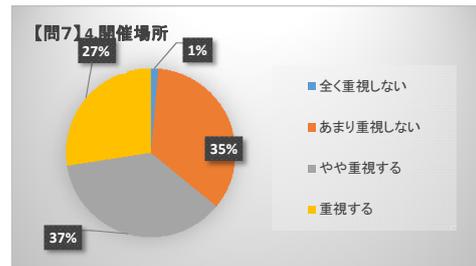
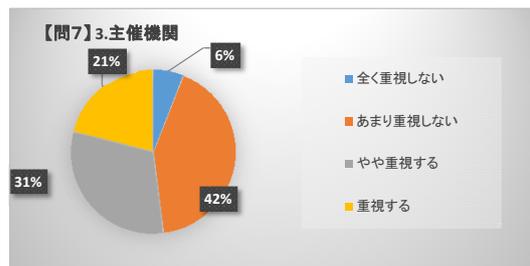


3. 主催機関

| | |
|----------|----|
| 全く重視しない | 9 |
| あまり重視しない | 64 |
| やや重視する | 47 |
| 重視する | 32 |

4. 開催場所

| | |
|----------|----|
| 全く重視しない | 2 |
| あまり重視しない | 49 |
| やや重視する | 52 |
| 重視する | 39 |

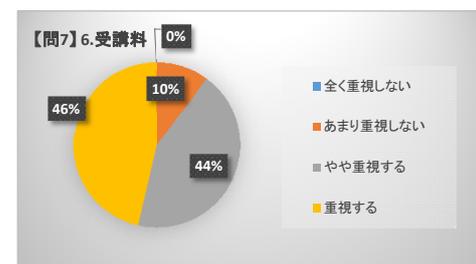
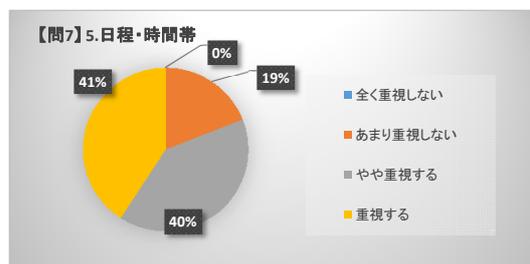


5. 日程・時間帯

| | |
|----------|----|
| 全く重視しない | 0 |
| あまり重視しない | 27 |
| やや重視する | 57 |
| 重視する | 58 |

6. 受講料

| | |
|----------|----|
| 全く重視しない | 0 |
| あまり重視しない | 14 |
| やや重視する | 60 |
| 重視する | 64 |

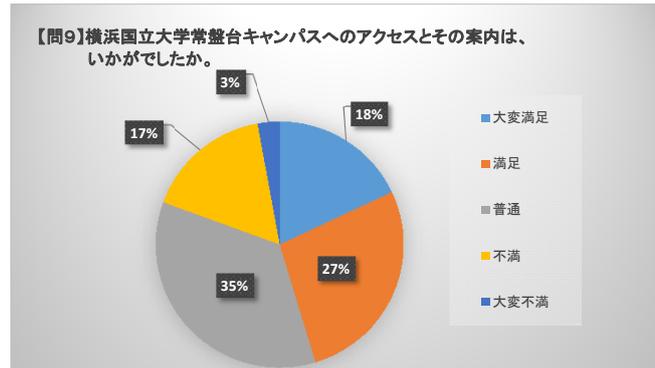


【問9】横浜国立大学常盤台キャンパスへのアクセスとその案内は、いかがでしたか。
また、その理由についてお聞かせください。

| | |
|------|----|
| 大変満足 | 25 |
| 満足 | 38 |
| 普通 | 49 |
| 不満 | 23 |
| 大変不満 | 4 |

(不満・大変不満の理由)

- 4: 横浜駅のバス乗り場がいくつもあり分かりにくい
- 4: かなり迷いました(駅構内、バス停)
- 4: 駅からの道筋が必要(駅構内の地図しかなかった)16分では着かない。
- 4: 案内はわかりやすかったが、交通がやや不便です。
- 4: 横浜駅西口からのバスが何番乗場かを案内してください。発車時刻、受付開始に間に合うもの。
- 4: 横浜駅からのアクセスにやや時間がかかる。
- 5: キャンパスが遠い。
- 5: 最寄駅が遠い



【問10】その他ご意見、ご要望がありましたらお聞かせ下さい。(多数のご意見から一部を抜粋しました。)

第1回目 I (講師: 読売新聞東京本社 長谷川 聖治 編集局次長)

大変良い講義に高校生が少ないのは残念です。高校(学校)に直接案内を出すなどの工夫が必要でしょう。
無料でこのような講義を開設していただき、誠にありがとうございます。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。資料も充実していて満足です。

第1回目 II (講師: 工学研究院 于 強 教授)

コンピューターとイノベーションの関係が判りやすかった。ありがとうございました。
于先生の話でいろいろな事がスッキリしました。感謝しています。
資料から離れて少し難しすぎた。難しくてもテキストに沿って話してもらいたかった。
于先生の講義はインパクトがあった。逆問題、思考実験とはじめて聞く言葉で少し勉強してみようと思った。

第1回目 III (講師: 都市イノベーション研究院 勝地 弘 教授)

難しいCFDを非常にうまく易しく説明してもらえた。AI量子コンピューターの話など、ぜひ聞かせて欲しい。
映像があって、とてもわかりやすかったが、専門的なところがちょっと理解しにくかった。
コンピューター分析の得意な事例。知識が広がった。

第2回目 I (講師: 工学研究院 大野 かおる 教授)

ちょっと難しかった。後半の応用についてもう少し聞きたかった。
社会及び我々の生活とのかかわりはどうなのか。
運動量(L, T, X, W, K, ...)とエネルギー順位の物理的イメージがわからなかった。→残念!

第2回目 II (講師: 環境情報研究院 白崎 実 准教授)

ひきこまれる講義でした。ありがとうございます。
興味深かった。人間への応用を期待しています。
理解し難いCFDを解り易く解説してくれた。

第3回目 I (講師: 環境情報研究院 長尾 智晴 教授)

短時間の間に密度の濃いご講演でした、有難うございました。今後金融業界も学際的なApproachが益々重要になりそうですね。
先端で行われていることを聞いて刺激になった。また、すごい実績をあげられていることもわかった。一流の先生の話が聞いて良かった。
資料の内容が参考になりました。(判りやすい)

第3回目 II (講師: 横浜市立大学 泌尿器科 横山 和秀 准教授)

医療と工学の学際的研究は必須なのですね。技術の進歩に感謝するばかりです。手術を分析、数値化することが「人」の教育に直結することがよくわかりました。
三日間、会社を早めに参加して良かった。最先端現場の話が聞いて良かった。